

校長室だより



9月30日発行



修学旅行に行ってきました！

6年生が楽しみにしていた修学旅行が、無事に終わりました。

2泊3日の九州への旅。本校の子供たちは、3日間を元気に過ごし、よく食べ、よく眠り、そしてルールをしっかり守りながら充実した時間を過ごすことができました。子供たちのたくましさには、私たち引率者も驚かされる場面がたくさんありました。

修学旅行には、大きく3つの目的があります。

一つ目は、**見聞を広げる**ことです。学校や教科書だけでは学ぶことのできない歴史や文化、産業、自然に実際に触れながら学びを深めます。

長崎の平和公園に漂う厳かな空気や、原爆資料館に展示された遺品の数々は、子供たちの心に深く刻まれたことと思います。また、バスガイドの渡部さんから「坂の多い長崎では、自転車を利用する人が少ない」というお話を聞きました。実際にホテルへ向かう途中の急な坂道を目にし、「なるほど、確かに大変そうだな」と実感することができました。こうした現地での体験こそが、学びをより確かなものにしてくれます。

二つ目は、**集団生活を学ぶ**ことです。修学旅行は、時間を守ることや自分の役割を果たすことなど、学校生活で身に付けてきた力を実践する場でもあります。

最終日に訪れた城島高原パークのお土産売り場では、こんな場面がありました。集合時刻が迫る中、レジにはたくさんのお客さんが並んでいました。このまま会計を待てば、集合時刻に遅れてしまうかもしれません。子供たちは迷ったことでしょう。しかし、自分の都合よりも集団の約束を優先し、手にしていたお土産を棚に戻して集合場所へ向かうことができました。子供たちの成長を感じた瞬間でした。

三つ目は、**公共の精神やマナーを身に付ける**ことです。公共交通機関や宿泊施設を利用しながら、社会のルールやマナーについて実践的に学びます。

ホテルでのバイキングや入浴など、自分たちで考えて行動する場面が数多くありました。ヒルトンホテルでの豪華なバイキングは、子供たちにとって忘れられない体験になったことでしょう。ラーメンやカレー、ソフトクリーム、チョコレートフォンデュは特に人気でした。楽しい食事の時間でも、周りのお客さんへの配慮を忘れず、声の大きさに気を付けながら食事を楽しむ姿が見られました。また、和食、

中華、韓国料理と次々に料理に挑戦する正之伸先生の食欲にも、子供たちは負けていなかったようです。

修学旅行は、**仲間と協力しながら行動し、社会のルールやマナーを学び、多くの人との出会いや体験を通して成長する大切な学習の場**です。3日間の経験を通して、一回り大きくなった6年生。今回の学びや思い出を、これからの学校生活にも生かしてくれることを期待しています。

子供たちに聞いた

持って行って役立ったもの

- パーカー(肌寒いとき、羽織れた)
- 雨合羽(イルカショー、遊園地で活躍)
- ウノ(ホテルの部屋で活躍)
- 酔い止め(正之伸先生も欲しかった)
- 帽子・しおり・タオル

